

令和3年度 部局経営方針

部局名(課名)		教育委員会	部局長名	小林 英明	
部局の経営資源	職員数(人)		現計予算額(千円)		令和3年度中に策定した計画(根拠法令等)
	正職員	54	一般会計	2,212,968	
	再任用職員	9	特別会計	0	
			前年度繰越額(千円)		
	会計年度任用職員	85	一般会計	36,986	
			特別会計	0	
任期付職					
総合計画に基づく部局の経営戦略	【基本姿勢】 教育委員会は、「第2次日向市総合計画・後期基本計画」(令和3年度～6年度)に掲げる将来像「海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる元気なまち」の実現に向け、「ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち」を目指し、各施策に取り組みます。 快適な環境の中で互いに学び合い、それぞれの個性を伸ばし、自分で考えて行動できる「生きる力」を身に付けた子どもの育成を目指します。地域社会が一体となって子どもを守り育てることで、郷土の文化や資源に誇りを感じ、ふるさとを愛する人材の育成を目指します。人権が尊重され、互いに認め合い、それぞれの個性を生かしながら幸せに暮らせる社会の実現を目指します。				
	【総合計画・基本理念】 (1)人権尊重 ○一人ひとりが尊重され、誰もが自由に個性と能力を発揮し、平和を尊ぶ心を育む教育を推進します。 (2)市民協働 ○学校、家庭、地域が連携しながら、ふるさと日向市を愛し、心豊かな人材の育成を目指します。 (3)地域力活用 ○学校、家庭、地域が連携しながら子どもを守り育てることで、社会に貢献する人材を育みます。				
	【総合計画・基本目標】 01-01 生きる力を育む教育の推進 ○幼児教育と小学校教育の円滑な接続を充実させるため、スタートカリキュラムの活用を図るとともに、幼保小中連絡協議会の実施などを通して、幼稚園・保育所・認定こども園・小学校の連携を強化します。 ○学ぶ意欲や学力の向上を図りながら、小・中学校教育の充実を図るため、キャリア教育、小中一貫教育、コミュニティ・スクールの三位一体の教育や、外国語教育等の取組を推進します。 ○GIGAスクール構想に基づき整備したタブレットなどの学校ICT環境を積極的に活用するとともに、教員のICT活用指導力の向上を図りながら、児童生徒の情報活用能力の育成と学校事務の効率化に努めます。 ○特別支援教育の充実を図るため、児童生徒の特性を踏まえた支援の在り方を話し合うケース会議の充実や関係機関との連携強化に努めます。				

【総合計画・基本目標】

01-02 魅力ある教育体制や環境の充実

- 問題や悩みを抱える児童生徒の相談支援体制の充実のため、学校や関係機関と情報を共有しながら、いじめや不登校、虐待の防止に努めます。
- 児童生徒の健康づくり推進のため、食育や健診の実施並びに健診後の指導に取り組みます。
- 安全安心な教育環境の充実を図るため、学校施設の耐震化や環境に配慮した学校設備の改修及び適正な維持補修に努めます。
- 国の法令や衛生基準に基づき、適切な施設管理に努め、安全安心な学校給食を提供します。
- 食物アレルギーがある児童生徒については、家庭や学校と情報共有を図りながら、安全安心なアレルギー対応給食の提供に努めます。
- 給食費の徴収、管理の効率化を図るため、学校給食費の公会計化に取り組みます。

01-03 地域が一体となった青少年の育成

- 地域全体で子どもを守り育てる事業に積極的に取り組むとともに、子どもたちが地域に誇りを持てるような取組を推進していきます。
- 中学生が自らの夢に向かって様々な課題にチャレンジする取組の支援や、市内の文化施設等を活用した体験学習の実施により、日向市の良さを再発見するなど、未来のふるさとを担う人材の育成に取り組みます。

01-04 社会教育の推進

- 地域社会で生きがいをもって暮らしていける環境づくりに努め、生涯学習・社会教育の充実・振興を図ります。

01-05 図書館サービスの充実

- 読書に親しむ機会の創出や環境の充実に努め読書活動を推進するとともに、市民が利用しやすい図書館を目指します。
- 学校図書館司書の配置など学校図書館の機能を充実させ、読書の楽しさを伝える環境づくりに取り組みます。

01-06 地域文化の保存・継承・活用

- 地域に伝わる文化財を広く周知することで郷土愛を育むとともに、後世へと伝えていくため、その保存と活用に取り組みます。
- 「2020国文祭・芸文祭」の取組をはじめ、各団体等の芸術文化活動を支援し、市民が芸術や文化に親しむ環境の整備を図ります。
- 若山牧水をはじめとした地域の先人の顕彰や情報発信を積極的に行い、市民の郷土愛を深めるとともに、ふるさとに誇りを持つ人材の育成を図ります。

01-07 スポーツ活動の推進と環境づくり

- 生涯スポーツと競技スポーツの各種事業を推進し、市民の健康増進や心身の健康及びアスリートの育成を図ります。
- スポーツ施設を安全・安心に利用できるよう適切な管理に努めます。

01-08 人権・平和の尊重

- 沖縄県に中学生を派遣する平和交流事業を実施し、平和学習の推進を図ります。
- 市学校人権・同和教育推進協議会や市人権・同和教育研究大会の充実を図り、人権・同和教育問題に対する教職員等の正しい理解の促進に取り組みます。

01-10 国際化への対応と国際交流の推進

- 国際感覚豊かな子どもの育成を図るため、外国語指導助手(ALT)とふれ合いながら学ぶ機会を増やすよう努めます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1		1 未 来を支 える「ひ ゆがっ 子」育 成プロ ジェクト	1 生 きる力 をむ 育む 教育 の推 進	授業の内容 がよく分 かると 答えた 児童生 徒の割 合 【R1】 89.0% ↓ 【R6】 90.0%	1 コミュニ ティ・ス クール 制度に 基づく 学校運 営協議 会を開 催し、 学校の 教育方 針を踏 まえ、 地域な どと連 携した 学校教 育を行 います。	学校 教育課	コミュ ニティ ・ス クール (小・中 学校)に 要する 経費	202 203	コミュニ ティ・ス クール 推進上 の課題 や各学 校の取 組状況 を把握 し、研 修の充 実を図 ること で、課 題の解 決を図 るとも に、地 域の方 々の参 画を得 ながら 地域と とも にある 学校づ くりを 推進し ます。	各学校 にお ける 学校運 営協議 会の開 催回数 (1協議 会ごと の平均)	4 回	3.2	B	コロナ 禍の中 、学校 運営協 議会や 合同運 営協議 会(中学 校区)を 4回以 上開催 した学 校もあ るなど 、地域 で子ど もも育 てる体 制づく りが進 んでいる 状況が 見られ ます。 また、 学校運 営協議 会の取 組につ いて学 校全体 で共有 できる 環境を 構築し ていく 必要が ありま す。	各学 校の学 校運営 協議会 が年間 計画に 沿って 、協議 が進め ていけ るよう 助言を 行うほ か、必 要な研 修会を 開催し 、学校 からの 提案だ けでな く委員 からの 提案も 出してく るよう 促してい きま す。		
2	1 未 来へつ なげる 人づく り				2 小中一 貫教育 の推進 のため に、中 学校区 で作成 したグ ランド デザイ ンを基 に、9 年間を 見据え た系統 的で一貫 性のある 教育に 取り組 みます。 3 幼児 期の体 験や学 びを円 滑に小 学校の 学習に つなぐ 取組を 推進し 、幼児 教育と の連携 ・充実 に努め ます。	学校 教育課	小中連 携・一 貫推 進事 業	-	小中一 貫教育 推進上 の課題 を整理 し、さ らなる 充実を 図るた めに、 コミュ ニティ ・ス クール やキャ リア教 育と関 わりを もたせ た研修 の充実 を図り ます。	小中一 貫教育 合同研 修会を 1回以 上実施 した中 学校区 数	7	7	A	合同研 修会を 各学期 1回開 催する 学校も あり、 小中 学校9 年間で 子ど もも育 てるこ ういう 意識が 教職員 にも浸 透しつ つあり ます。 また、 小中 学校の 教諭が 連携し て、ICT を活用 した授 業研究 会にも 取り組 みまし た。	各中 学校区 で作 成して いるグ ランド デザイ ンにつ いて、 学校運 営協 議会の 委員や 保護者 等に更 に理解 を深め ていた だけ、 地域と とも にある 学校づ くり に資す ること ができ るよう 取組を 推進し ていく 必要が ありま す。	小中一 貫教育 の取組 を生か して、 地域と とも にある 学校づ くりを 推進す るため 、体制 整備に も取り 組んで いく必 要が ありま す。	
3						学校 教育課	-	-	幼 稚園、 保育所 、認定 こども 園、小 学校の 職員が 一緒に 学ぶこ とがで きる研 修を 実施す るとも に、日 向市ス タート カリキ ュラム の更なる 活用を 図りま す。	幼保 小連携 協議会 の開催 回数	3 回	3	A	幼保 小の連 携・接 続に関 する先 進的な 取組に ついて 研修を 行い、 今後の 実践に 向けた 方向性 を共通 理解し まし た。	小 学校が 作成し ている 「スタート カリキ ュラム」 や、幼 稚園等 が作成 している 「ア ブロー チカリ キュラ ム」を、 さらに 具体的 に示し ていく 必要が ありま す。	小 学校と 幼稚園 等が互 いに授 業等の 参観・ 交流を 活発に 行いな がら、「 スタート カリキ ュラム」 や「ア ブロー チカリ キュラ ム」の 見直し を行 い、め ざす子 どもの 姿をよ り具体 的に示 してい きま す。	

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書 頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
4	1 未来へつなげる人づくり	1 未来を支える「ひょうがっ子」育成プロジェクト	1 生きる力を育む教育の推進	授業の内容がよく分かると答えた児童生徒の割合 【R1】89.0% ↓ 【R6】90.0%	4 学校ICT環境の整備を推進し、ICTを効果的に活用した教育を行います。	学校教育課	学校ICT環境整備事業(小学校)(中学校)	197	ICT支援員を配置し、GIGAスクール構想により整備したタブレットの有効活用を図ります。また、学校内の環境把握や整備を行います。	教員のICT活用指導力の調査における、「授業にICTを活用して指導する能力」について、「できる・ややできる」と回答する教員の割合	78.2	%	78.3	A	「授業にICTを活用して指導する能力」について、県平均(62.1%)、全国平均(70.2%)とも上回り、概ね目標値を達成することができました。	ICTを生かした学びの保障と個別最適化した学びを実現していくため、学校に対し、分かる授業の推進に向けた支援を行っていく必要があります。	教員のICT活用能力の向上を図るため、ICT支援員を配置し、計画的な支援(機器操作指導・授業及び教材準備支援・校内ICT研修等)を実施します。
5				5 未来を見据えた通学区の検討を行います。	学校教育課	就学支援委員会・通学区区域審議会の運営に要する経費	195	学校の適正配置について、児童生徒数や地区人口の推移、各学校の課題等を整理し、調査研究を行います。	庁内ワーキンググループ会議の開催回数	1	回	0	C	庁内検討委員会の立ち上げに向けた規程の整備や他市での状況について情報収集を行いました。	児童生徒の減少が進む中、将来にわたって本市の児童生徒の学びを保障し、適切な環境の中で教育を受けさせるため、適正な学校配置の方向性について協議を進めていく必要があります。	適正な学校配置に向け、協議を開始するために、庁内検討委員会を立ち上げます。	
6			2 魅力ある教育体制や環境の充実	不登校児童生徒が学校に復帰した割合 【R1】26.8% ↓ 【R6】29.1%	1 スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の悩み相談など心のケアを行います。	学校教育課	スクールサポート事業	196	児童生徒の相談に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、きめ細かに対応するとともに、専門的で福祉的な知見を活かし、生活環境の調整や関係機関との連携を充実させます。また、関わりを継続することにより、これまで抱えている問題の解決を図ります。	不登校児童生徒が学校に復帰した割合	22.5	%	23.1	A	年間60件以上の事案について、福祉部局や関係機関と連携を図りながら、教育相談の対応や支援に当たった結果、不登校傾向にある児童については、9件において問題が解決したほか、13件の事案が改善されました。	不登校の要因は、家庭の状況をはじめ、学校での人間関係やコロナ禍など、様々な社会的背景が複雑に絡み合うなど多様化してきており、福祉部局や関係機関と更なる連携を図る必要があります。また、不登校件数も増加しており、支援体制の強化を図る必要があります。	各学校との積極的な情報の共有に努めるとともに、福祉部局など関係機関との連携強化を図りながら、学校が対応に苦慮するケースの迅速な解決に向けて、一体となって取り組みます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
7	1 未 来へ つな げる 人づ くり	1 未 来を 支え る「ひ ゆが つ子」 育成 プロ ジェ クト	2 魅 力あ る教 育体 や環 境の 充実	不登校児童生徒が学校に復帰した割合 【R1】 26.8% ↓ 【R6】 29.1%	2 適応指導教室などで児童生徒の不登校解消に向けた相談・指導を行います。	学校教育課	スクールサポート事業	196	適応指導教室において、学校以外での学習の場を提供するとともに、安心できる居場所としての機能を充実させます。また、学校や関係機関と連携を図ることで、児童生徒本人や家庭への効果的な支援を行います。	不登校児童生徒が学校に復帰した割合	22.5	%	23.1	A	適応指導教室では、児童生徒、保護者、教職員から、年間120件以上の教育相談を受け、個別の特性や状況に応じた支援を行いました。また、通級する児童生徒の生活リズムの改善や個別の学習支援を行いながら、月1回を目途に各学校との情報共有を行うなど、連携を図りながら学校復帰の支援を行いました。	不登校の児童生徒が増加傾向にある中、さらにコロナ禍による非常変災不安による欠席等が大きな影響を与えており、当面、この状況が続くことが予測されます。適応指導教室での支援の在り方も、より個別のニーズに対応しつつ、学校に復帰するという意識付けをどのように行っていくか検討を行う必要があります。	適応指導教室での活動や支援について、広く保護者に周知を図るとともに、長期化する児童生徒の学習保障という観点から、積極的にタブレット端末を活用するなど、個別の特性や状況に応じた支援の在り方を検討する必要があります。また、オンラインで学校と児童生徒をつなぐなど、学級や教員との接点を見いだすことについても検討する必要があります。
8				-	3 細島小学校・細島公民館・細島地区コミュニティセンターの機能を集約した複合施設を整備します。	教育総務課	細島小学校改築事業	193	新校舎(複合施設)校舎整備 既存校舎の解体撤去のうえ運動場整備 外構及び既存校舎との取り合い整備	複合施設を含めた細島小学校施設整備の進捗率	100	%	100	A	事業完了		
9				-	4 児童生徒が安全で安心して教育を受けられるよう、学校施設の改修・整備に努めます。	教育総務課	小学校各校整備 中学校各校整備 中学校各校整備	321 322	継続的に取り組んでいる、体育館の高所照明器具の改修に取り組みます。	小中学校の体育館の高所照明をLED照明への改修率	89	%	89	A	3校を改修(坪谷小学校、寺迫小学校、美々津中学校)	特にありません。	体育館以外の灯具についてもLED照明へ改修していきます。
10				-	3 地域が一体となった青年の育成	1 世代間交流活動を支援し、地域における教育力を高め、子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力を育みます。	生涯学習課	地域教育力活性化事業	210	地域の団体が主体となり、子どもたちとともに農業体験や伝統芸能などの活動を行い、地域の子どもは地域で育てることを実践します。	大人の参加割合	50	%	47	A	申請があった10団体のうち、コロナ禍の影響により実施できたのが5団体でした。その5団体の中でも規模を縮小して実施した団体もあり、当初想定した活動ができませんでした。	市の広報で事業の案内をしているところですが、なかなか新しい実施団体が現れず、例年同じ団体の活動が多い現状があります。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
11			3 地域が一体となった青年育成	-	2 地域の協力により放課後子ども教室を開設し、子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所づくりに努めます。	生涯学習課	放課後子ども教室推進事業	211	学校の放課後等に小学校等を利用し、地域住民の参画を得て、勉強、屋外活動、文化活動などの取組を支援します。 平岩小、細島小、塩見小、美々津小、寺迫小、東郷学園(2教室)にて開設	登録児童数	220	人	221	A	子どもたちが安全で安心して過ごすことのできる居場所として6小学校7教室で開設しました。 年度後半においては、参加児童が少なくなった教室もありましたが、感染防止に十分に配慮し、予定どおり開設しました。	夏季休業期間中も5つの教室で開設していますが、子どもたちの活動を見守るサポーターの確保が困難であるため、他の教室と開設日数に差が生じている教室もあります。 また、積極的に体験活動を行っている教室がある一方、あまり行っていない教室もあるなど活動に差が生じています。	サポーターが不足している教室にあっては、サポーター間のネットワークやまちづくり協議会との連携により、その確保に努めていきます。 市内7教室のサポーターを集めての研修と情報交換を兼ねた会議を独自に開催し、他の教室で行っている活動や課題解決に向けての取組を参考にし、それぞれの教室の活性化に向けた取組につなげていきます。
12	1 未へつなげる人づくり	1 未を支える「ひょうがっ子」育成プロジェクト	小学生、中学生が1か月に読む読書冊数(平均)		1 ブックスタート事業として、乳幼児に絵本を贈り、本に親しむ機会を提供します。	図書館	児童サービスに要する経費	206	絵本を贈る際に、貸出カードの作成案内やおはなし会などのイベントの案内を渡し、図書館利用の契機とします。	ブックスタート対象者に対して配布できた割合	100	%	100	A	7か月、1歳6か月、3歳児健診に合わせてブックスタート対象者に対して絵本を贈り、親子で本に親しむきっかけ作りや、読書習慣を身に付ける一助となりました。	コロナ禍に対応した健診スタイルの中、限られた機会でも保護者の方へ活用方法や読み聞かせの必要性などを理解してもらうことが必要です。	継続的に読書習慣を身に付けるため、今後も3回の健診に合わせて事業を行います。 対面での説明時間は限られるため、口頭での説明に加え、小冊子、パンフレット等を渡して、読書の必要性について理解が深まるよう努めます。
13			4 読書の推進 小学生【R1】13.6冊 ↓【R6】15.0冊 中学生【R1】3.9冊 ↓【R6】4.2冊		2 図書館、学校図書館、公民館図書室が連携し、子どもの読書活動を支援します。	図書館・学校教育課	図書館サービス・資料の充実に関する経費	206	○公立公民館図書室の配本、学校図書室への団体貸出し等に加え、令和3年2月より始めた放課後子ども教室への団体貸出しを継続します。 ○巡回図書再開について学校と協議を行います。	貸出冊数(年間)	190,000	冊	169,813	B	コロナ禍による外出自粛や図書館の臨時休館などにより来館者が減る中、公立公民館図書室や学校、幼稚園・保育園、児童クラブ、放課後子ども教室等の団体貸出しを行い、図書館に来館しなくても読書ができる環境の整備に努めました。	団体貸出しの際の配本手続きについて、お互いに負担がかからないよう検討する必要があります。 利用のない団体への働きかけが必要です。	団体貸出しの利用を行っていない学校や施設等に、利用を働きかけます。 配本計画を練って、配本の際の負担を減らせるよう努めます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
14	1 未来を支える「ひょうがっ子」育成プロジェクト	4 読書活動の推進	小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数(平均)小学生【R6】15.0冊 中学生【R6】4.2冊	3 学校図書館司書を配置し、学校の図書担当教員と連携した図書室の環境整備及び読書活動推進のための取組を行います。	学校教育課	読書活動充実事業	196	学校図書館司書を配置し、学校の図書担当教員と連携した図書室の環境整備及び読書活動推進のための取組を支援します。	小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数(平均)	小15 中4	冊	小15.5 中5.3	A	すべての小中学校に、7名の学校図書館司書を計画的に配置しました。また、学校図書館に子どもたちが通いたくなるよう読書環境の整備に努め、読書意欲を向上させることができました。	現在、学校図書館司書は、一人で複数校(2~3校)を担当している状況にあり、週2回の勤務となる学校もあることから、事務の効率化を図るとともに体制の強化に向けた取組を進めていく必要があります。	市立図書館と連携し、様々なジャンルの図書に子どもたちが触れる機会を提供します。また、各学校図書館が連携し、効果的な取組を共有するなど読書環境の充実を図っていきます。	
15		3 ふるさとを愛する心豊かな人づくりプロジェクト	1 豊かな人感覚を持った人づくり	-	1 「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づいた人権教育や啓発活動を推進します。	学校教育課	同和教育の充実に要する経費	333	教育集会所での活動や、各種研究大会、講演会等による啓発活動に取り組みます。	市・人権同和教育研究大会への参加者数	600	人	0	C	日向市学校人権・同和教育推進協議会の活動をはじめ、教育集会所活動など、感染症対策を行いながら、できる活動に取り組みました。	部落差別をはじめとする人権研修に継続的に取り組むとともに、オンラインでの開催など、工夫をしながら取組を進めていく必要があります。	同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題の解決に向けての理解と認識を深めていきます。また、オンライン等による大会や研修会の開催についても取組を進めていきます。
16		3 ふるさとを愛する心豊かな人づくりプロジェクト	3 郷土愛を育む教育の推進	-	1 「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づいた人権教育や啓発活動を推進します。	生涯学習課	社会教育一般事務費	347	4回の人権講座の開催広報誌、HP、これまでの参加企業への案内などして、参加者を募るようにします。	人権講座の受講者アンケートにおける満足度(大変良かった・良かったと回答した参加者の割合)	85	%	98	A	予定どおり4回開催することができました。講座内容も高齢者の人権、LGBT、子どもの人権といった多岐にわたり、参加者も前回(令和元年度)の251人から301人に増加することができました。	近年の人権意識の高まりから様々な社会のニーズがあり、講座内容の選定に苦慮することがあります。	講座内容の選定においては、地域コミュニティ課や学校教育課、それに社会教育指導員などと協議を行い、現代の課題を的確に反映した内容にふさわしい講師を選定し、実施していきます。
17			-	1 総合的な学習の時間を活用し、ふるさと教育の充実を図ります。	学校教育課	牧水教育事業	-	牧水かるた大会を開催し、若山牧水の短歌に親しむ機会を提供し、牧水への理解を深めます。	牧水かるた大会への参加校数	20	校	0	C	第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭などで、本市児童が牧水短歌を披露するなど牧水への理解を深めました。(コロナ禍で牧水かるた大会は中止)	児童生徒が郷土の歌人「若山牧水」の短歌等に親しむ機会をさらに広げていく必要があります。	牧水かるた大会の開催をはじめ、若山牧水の顕彰事業などを児童生徒に情報提供し、若山牧水の短歌等に親しむ機会を広げ、牧水への理解を深めます。	

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
18	1 未へつなげる人づくり	3 ふるさとを愛する心豊かな人づくりプロジェクト	3 郷土愛を育む教育の推進	-	2 囲碁教室の開催など囲碁文化の継承に努めます。	学校教育課	「囲碁のまち日向市」モデル事業	195	放課後子ども教室や公立公民館が主催する土曜教室など、他機関との連携方策について協議します。	児童生徒を対象とした囲碁教室の開催回数	80	回	48	C	市内小学校(1校)で囲碁教室を開催したほか、放課後子ども教室等でも初心者囲碁教室を開催しました。	児童生徒数の減少をはじめ、余暇活動の多様化や授業時数の確保等により、学校と連携した取組が困難な状況にあります。	放課後子ども教室や公立公民館が主催する土曜教室を活用した囲碁教室の拡大など、他機関との連携方策について協議します。
19				-	3 若山牧水の短歌に親しみ、牧水への理解を深めます。	スポーツ・文化振興課	牧水顕彰事業	209	・牧水顕彰会創立70周年記念企画展 ・牧水・短歌甲子園 ・牧水祭 ・青の國若山牧水短歌大会 ・若山牧水賞記念講演会	牧水顕彰事業参加者数及び文学館入館者数(年間)	4,800	人	2,173	C	牧水・短歌甲子園はコロナ禍で令和2年度に続き、リモート開催となりました。一方、これまでの取組が高く評価され、宮崎日日新聞賞教育賞を受賞しました。	牧水・短歌甲子園や青の國若山牧水短歌大会などを通じて、全国に牧水を発信する事業に取り組んでいますが、牧水のふるさと日向市をより多くの方に知っていただくために、さらなる顕彰活動が必要です。	牧水顕彰事業全般に若い世代の参加が少ないことから、若い世代に関心を持ってもらえるような取組を行っていきます。SNSを活用するなど、積極的なPR活動を行います。
20				-	4 中学生が思い描いている夢に向かいチャレンジする取組を支援します。	生涯学習課	ふるさと再発見！子どもの実現夢サポート事業	211	中学生3人を選出し、自らの夢に向かってチャレンジする取組を支援していきます。	申込者数	17	人	7	C	コロナ禍にあっても様々な方策を探りながら、選ばれた生徒が自らの夢に向かってチャレンジする取組の実施につなげることができました。また、過去2年開催することができなかった活動の成果を発表する報告会も開催することができ、生徒自身の大きな成長につなげることができました。	新型コロナウイルスへの影響からか申込者数が7名で、想定していた人数より少ない結果となりました。今後は様々な生徒の思いを聞き、選考できるような申込者を増やす取組が必要です。	これまでの周知方法を見直す必要があり、その一つとして前回の3名の生徒による活動内容を動画にまとめたDVDを作成します。これまでの募集チラシのほかに、作成したDVDを市内の中学校に配布し、申込者数の増加につなげていきます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
21	1 未へなつる人づくり	3 ふるさとを愛する心豊かな人づくりプロジェクト	3 郷土愛を育む教育の推進	学校給食食材に占める地産地消率 【R1】61.4% ↓ 【R6】64.0%	5 学校給食への地元食材の活用や地産地消交流学校給食会の開催など、学校給食における地産地消を推進します。	学校給食センター	給食調理に要する経費	204	地元食材の購入に努め、学校を訪問し交流学校給食会を開催します。	学校給食に占める地元食材の割合	64	%	59.4	A	学校給食会及び栄養士と連携し、給食における地元食材の購入を進めました。 2、3学期の交流学校給食会については、コロナ禍により開催を見合わせました。	コロナ禍において、交流学校給食会や施設見学等の見合わせが続いています。	徹底した感染防止対策に基づき、衛生的な維持管理が必要な施設であることから、交流学校給食会及び施設見学の開催に関しては今後も慎重に判断します。
22			4 キャリア教育の充実	「日向市が好き」と答えた中学生の割合 【R1】82.4% ↓ 【R6】88.2%	1 産学官や地域の大人が連携し、「日向の大人はみな子どもたちの先生」をスローガンにキャリア教育支援事業「よのなか教室」を市民運動として推進します。	学校教育課	キャリア教育推進事業	198	「よのなか教室」について、対面式やオンデマンド方式等を充実させながらキャリア教育の推進を図るとともに、これまでの本市のキャリア教育の在り方を見つめ、今後の方向性を決めます。	「日向市が好き」と答えた中学生の割合	78.9	%	79.8	A	「よのなか教室」について、オンデマンド方式やオンライン方式等を活用しながらキャリア教育の推進を図ったほか、日向市等の職業人による働く意味や生き方について学べる動画を作成し、市内小中学校に配布しました。また、キャリア教育推進懇話会を開催し、本市のこれからのキャリア教育の在り方について意見交換を行いました。	キャリア教育の考え方や今後の方向性について、児童生徒だけでなく、保護者等にも広く周知を図り、一体となって取組を推進していく必要があります。また、発達の段階に応じて計画的にキャリア教育を実施する必要があります。	保護者や企業等に対して、キャリア教育の内容や今後の方向性を周知しながら、広く活用してもらえるような取組を行うほか、発達段階に応じたキャリア教育のあり方について検討を進めていきます。
23			5 高校・高等専門教育機関への支援の充実	-	1 小学校・中学校・高校の連携強化や市内の県立高校の魅力向上への支援など、市内高校への進学率の向上に努めます。	学校教育課	-	-	-	市内の高校が各中学校において魅力を発信する場を設定するなど、市内の高校への関心を高めるような取組を充実させます。	各中学校において高校説明会を設定し、市内の高校の魅力を発信する機会を設定しました。	市内の高校が各中学校で魅力を発信するための具体的な場面や方法等について、検討を行います。	市外に進学する生徒が増えてきており、中高連携等の機会を通じて、市内高校の魅力発信に向けた取組について、さらに協議を進めていく必要があります。				

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
24	1 未へなげくり	3 ふとを愛する豊かな心づくりプロジェクト	5 高校・専門学校へ支援の充実	-	4 放送大学宮崎学習センターの情報発信や入学料に対する市民への支援など利用促進に努めます。	生涯学習課	放送大学支援事業	209	放送大学宮崎学習センター振興協議会への補助金交付、市民の入学者に対する入学料の半額補助	入学奨励金申請者数	10	人	7	B	放送大学宮崎学習センターや放送大学宮崎学習センター振興協議会と連携し、学生募集に努めました。市民が放送大学に入学する際の入学料の半額補助の申請者数は前年度に比べ減少しました。	放送大学宮崎学習センター全体の学生数は、前年度に比べ増加しているが、そのうち本市に住所がある学生数は、減少しています。学習センターの所在地として、その学生数を増やす取組が求められます。	放送大学宮崎学習センター振興協議会の取組である授業料の免除と入学料の半額免除を組み合わせた体験入学募集について、市としてもその支援を行い、学生数の増加につなげていきたいと考えております。今後も学習センターが主催する市民を対象とした公開講座の支援を行うなど、市民に関心をもっていただけるような取組を進めていきます。
25	2 活をみすぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	4 牧水の生地・郷生かした魅力づくり	-	1 青の国若山牧水短歌大会や短歌甲子園など、牧水顕彰事業の拡充に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	牧水顕彰事業	209	・牧水顕彰会創立70周年記念企画展 ・牧水・短歌甲子園 ・牧水祭 ・青の国若山牧水短歌大会 ・若山牧水賞記念講演会	牧水顕彰事業参加者数及び文学館入館者数(年間)	4,800	人	2,173	C	牧水・短歌甲子園はコロナ禍で令和2年度に続き、リモート開催となりました。一方、これまでの取組が高く評価され、宮崎日日新聞賞教育賞を受賞しました。	牧水・短歌甲子園や青の国若山牧水短歌大会などを通じて、全国に牧水を発信する事業に取り組んでいますが、牧水のふるさと日向市をより多くの方に知っていただくために、さらなる顕彰活動が必要です。	牧水顕彰事業全般に若い世代の参加が少ないことから、若い世代に関心を持ってもらえるような取組を行ってまいります。SNSを活用するなど、積極的なPR活動を行います。
26				-	2 若山牧水記念文学館の来館者増加や牧水公園の利用促進に取り組めます。	スポーツ・文化振興課	若山牧水記念文学館運営費	345	・牧水顕彰会創立70周年記念企画展(スポット)	牧水記念文学館入館者数(年間)	3,700	人	1,903	C	コロナ禍の休館などで入館者数は減少していますが、日向若山牧水顕彰会創立70周年事業の「繁と敏夫」展は牧水の魅力を発信する企画展として、好評を得ることができました。	牧水記念文学館の来場者を増やすために、各種企画展の開催をはじめ、東郷町ふるさと公社や各種団体等と連携を図り、人を呼び込む施策に取り組む必要があります。	コロナ禍により入館者数が減少していますが、顕彰会自主事業の企画展内容の充実を図り、入館者増加につなげていきます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
27	2 活を生み出すにぎわづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	5 重要伝統的建造物保存地区「美々津」を生かした魅力づくり	-	2 伝統的建造物の保存修理と町並みの良好な景観形成に取り組みます。	教育総務課	重要伝統的建造物保存地区整備事業(補助・単独)	194	国庫補助事業を活用して、修理・修景事業に対する補助事業を実施し、伝統的な建造物の保存に取り組みます。	修理修景等の補助件数	4	件	13	A	国庫補助事業：立磐神社3期工事 市単独事業：原田家漆喰修理ほか11件	特定物件の86%が大規模修理を終え、歴史的な町並み景観の復元が進んできていますが、空き家の利活用と後継者不足が課題です。	地域住民と連携ながら、町並み景観の復元に取り組んだり、伝建地区の魅力を発信したりしていきます。
28	2 活を生み出すにぎわづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	5 重要伝統的建造物保存地区「美々津」を生かした魅力づくり	-	3 日向市歴史民俗資料館などの公共施設の利用促進に取り組みます。	教育総務課	歴史民俗資料館運営費	331	指定管理者と連携して、日向市歴史民俗資料館を核とした伝建地区の活性化に取り組みます。	日向市歴史民俗資料館入館者数(おひなさん祭り期間中)	200	人	380	A	伝建地区施設の指定管理者を一本化し、施設間の連携を図りました。 おひなさん祭りを3月8日～27日に開催、期間中に美々津県設置150年記念「ミニ資料展」を実施しています。	おひなさん祭りが定着化してきており、コロナ禍にもかかわらず、多くの方に来ていただきました。地域の活性化に住民がさらに協力したいと思わせるような雰囲気づくりをしていくことが課題です。	指定管理者と連携しながら、伝建地区の魅力を発信していきます。
29	2 活を生み出すにぎわづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	9 新たな交流拠点の整備研究	-	1 新たな交流拠点、知の拠点としての役割を果たす複合的な機能を備えた図書館の整備について調査研究を行います。	図書館	-	-	関係課と協議して、大まかな方向性、スケジュールについて検討します。 モデルとなる施設の視察を行います。	先進事例として調査研究を行った自治体の数	2	団体	2	A	先進事例として、都城市立図書館と新富町立図書館について、施設の整備概要やコンセプト等について調査研究を行いました。	他の公共事業との調整を図りながら、施設のコンセプトや規模、複合的な機能などを検討していく必要があります。	引き続き情報収集に努め、複合施設の整備に向けた調査研究を行うとともに、関係課による協議を継続していく必要があります。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
30	3 笑顔で暮らせる地域共生社会づくり	2 笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト	1 健康づくりの推進	-	5 児童生徒の健康づくりや食育に取り組みます。	学校教育課・学校給食センター	-	-	全小・中学校(特別な事情のある学校を除く)において、「弁当の日」を実施します。また、栄養教諭による食育の出前授業を行い、食育の推進を図ります。	栄養教諭による食育の出前授業回数	154	回	130	B	コロナ禍の影響もありましたが、食育授業や「弁当の日」を可能な限り実施したことで、望ましい食習慣に係る知識を身に付けさせ、栄養バランスのとれた食事への意識付けを図ることができました。	食生活の乱れや肥満・痩身傾向が見られる子どもたちがまだ多くみられます。	望ましい食習慣を身に付けさせるために、「弁当の日」の実施や、栄養教諭による食育の出前授業をとおして、食育の更なる推進を図っていきます。
31			4 スポーツを生かした生きがいがづくりや健康づくりの推進	-	1スポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ機会の提供や運動習慣の定着に努めます。	スポーツ・文化振興課	【市制施行70周年】日向ひよっこマラソン大会開催事業費	-	「日向ひよっこマラソン大会」を3月の第2日曜日に約400人のボランティアスタッフの協力を得て大会を実施します。 ・実行委員会 8回	大会参加者数	1,500	人	大会中	C	実行委員会の中でコロナ禍の影響、感染状況を考慮し、8月に中止を決定しました。 今後の開催に向け、大会開催時の感染対策等を協議しました。	日向ひよっこマラソンの参加者数は、この自治体でも同様のイベントが開催されており、年々減少傾向となっています。 今後は、誰もが参加できるスポーツイベントへの転換も含めて方向性を検討します。	令和5年度で30回を迎えるにあたり、大会の意義、内容の見直しを含め、今後の大会のあり方について協議していきます。
32	3 笑顔で暮らせる地域共生社会づくり	2 笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト	4 スポーツを生かした生きがいがづくりや健康づくりの推進	市主催のスポーツ教室等への参加者数(年間) 【R1】856人 ↓ 【R6】920人	2 総合型スポーツクラブへの支援など生涯スポーツの推進に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	生涯スポーツ推進事業	344	スポーツ推進委員については、人員の確保に努め、更なるスキルアップのための研修会等に積極的に参加できるよう支援します。 「ひむかYOUゆうクラブ」については、会員や活動場所の確保、人材育成などの支援を行いながら、自立した運営を目指します。	市が主催するスポーツ教室等参加者数(延数)	460	人	329	B	コロナ禍の影響でスポーツ教室等の開催回数が計画より半減する中、毎月開催しているスポーツ推進員定例会において、内容や周知方法の見直しなどを協議しました。 「ひむかYOUゆうクラブ」については、会員や活動場所の確保、人材育成などの支援を行いました。	市のスポーツ推進委員が主管するスポーツ教室は、子どもから高齢者まで多くの市民が参加していますが、参加者が少ない教室も見受けられ、さらなる周知や内容の見直しが必要です。 また、総合型地域スポーツクラブは、会員の増加が図られていないことから、自立した運営が難しい状況となっています。	今まであまり運動をしていない人でも参加しやすいように、活動場所の確保や広報活動を行うとともに、減少傾向にあるスポーツ推進委員の増員、関連団体を運営する人材の確保、育成なども支援していきます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書 頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
33	3 笑顔で暮らせる地域共生社会づくり	2 笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト	4 スポーツを生活に生かした生きがいづくりや健康づくりの推進	スポーツ施設の利用者数(年間) 【R1】233,817人 ↓ 【R6】234,000人	3 スポーツ施設の適切な維持管理や利用促進を図ります。	教育総務課	お倉ヶ浜総合公園(野球場・屋内運動場以外)管理運営費他	323	指定管理者と定期的な協議を行い情報共有するとともに、その他の施設は定期的に点検を行い必要に応じ修繕等を行います。	スポーツ施設の年間利用者数	140,000	人	148,235	A	下記のとおり、維持修繕を実施しました。 ・お倉ヶ浜総合公園: テニスコート照明、サンドーム内シャッター等 ・大王谷運動公園: トイレバルブ等 ・東郷地区: グラウンド内水銀灯取替、体育館ステージパネル昇降器具 ・体育センター: エアコン修繕、武道館水銀灯取替 ・美々津運動広場: 浄化槽プロフ	お倉ヶ浜総合公園の照明器具は老朽化に伴い、テニスコート、野球場、サンドームと全体的にさび付いており、早急な対応が必要です。	令和9年度に予定されている「国民スポーツ大会」の会場等となる施設を優先して改修を行います。 その他の施設についても、老朽化の度合いや利用状況等から優先順位をつけ計画的な改修・修繕を行います。
34				-	4 国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会の開催に向けた受入体制の構築に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	国民スポーツ大会宮崎大会推進事業	208	令和9年度に開催される国民スポーツ大会宮崎大会に向けて、今年度開催される三重国民体育大会を視察し、早期に市準備委員会を設置等の準備を確実に進めていきます。	視察協議の回数	3	回	0	C	予定された三重大会が中止となり視察等できない状況となりましたが、本市開催予定のビーチバレーボール会場の実施設計を行うなど、本大会及びリハーサル大会の円滑な競技運営に向け準備を行いました。	国民スポーツ大会での競技実施に向けて、事務局の体制づくり及び競技団体等とのさらなる連携が必要です。	令和9年度開催に向け、開催地視察や関係機関・関係団体と連携体制を強化しながら準備を進めていきます。
35				-	5 小学校、中学校、高校が連携し、競技団体を中心にアスリートの育成に取り組めます。	スポーツ・文化振興課	競技スポーツ推進事業	207	指導者を対象にした講演会及び研修会を実施します。また、体育協会加盟団体のうち3競技団体に委託し、競技別に小学生、中学生、高校生を対象に強化練習を実施し、競技力の向上を図ります。	講演会の回数	2	回	2	A	スポーツ少年団本部と連携して、指導者や保護者等を対象にリモート方式で講演会を2回開催しました。 また、ジュニア育成事業やアスリート育成事業、奨励金事業を実施し、競技団体の競技力向上のため、各スポーツ団体の支援を行い、アスリートの育成を図りました。	国民スポーツ大会等の全国規模の大会出場を見据え、それらの大会に出場する選手を育成するためには、小・中・高の運動部活動の顧問やスポーツ指導者と競技団体をはじめ、市民と行政が一体となって競技力向上に取り組むことが重要です。	令和9年度開催予定の国民スポーツ大会に向け、本市開催競技種目を中心に指導者研修や強化練習を行うことで、競技力の強化向上を図ります。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
36					1 地域の核となる地区公民館の機能強化を図ります。	生涯学習課	子ども土曜教室事業	215	「生涯学習だより」を通じて、主体的な学びを促し生涯学習の推進を図ります。市民ニーズに対応し幅広い世代が参加できるように生涯学習講座の内容を充実していきます。	延べ参加者数	560	人	498	B	コロナ禍で定員の削減、中止、延期などがありました。参加者は様々なジャンルで楽しく有意義に学ぶことができていました。	応募者の減少や低年齢化が見られ、保護者の中には土曜日の放課後子ども教室的に考える傾向が見られます。また、校区を基本としているため、応募者が集まらない公民館も出ています。	学校週5日制の補完としての土曜教室ではなく、子どもの生涯学習を充実させるため、特に文化的な分野を中心に、校区に限定しない教室の開設を検討する必要があります。
37	3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり	3 共に支え合う地域づくりプロジェクト	3 地区公民館の機能強化	-			高齢者学習支援事業	215		延べ参加者数	360	人	340	A	コロナ禍で定員の削減、中止、延期などがありました。参加者は様々なジャンルで楽しく有意義に学ぶことができていました。	参加者の平均年齢が70歳を超え、受講者の高齢化・固定化も進み、内容の検討が必要となっています。学習内容も、希望の多い研修視察や料理などが実施できなかったため、応募者の減少も進んでいます。	公民館主催高齢者学習の福祉系の高齢者サロンや自治公民館の高齢者クラブなどと差別化を図り、高齢者が現代生活に適應できるような内容(スマホやネットなど)を検討する必要があります。
38							公民館主催講座事業	216		延べ参加者数	2,748	人	2,048	B	コロナ禍で定員の削減、中止、延期などがありました。抽選となる人気講座もありました。参加者は趣味・教養・生活・健康・実用などの各分野で満足できていました。	高齢者中心の講座が多くなってきており、働く世代の学びたい内容や夜間、休日などの講座の開講が必要と思われる。生涯学習だよりが年1回発行のため、前後期制の見直し、また学習発表会のあり方も再検討の必要があります。	若い世代に向けた夜間や託児付の講座を開設し、年間を通じての内容や集中的な講座の開設など検討する必要があります。対象者も成人に限定せず、全世代と一緒に学べる講座をめざしていきます。また、学習発表会の分散化を検討します。
39	3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり	3 共に支え合う地域づくりプロジェクト	3 地区公民館の機能強化	-	2 老朽化している地区公民館の整備や新たな地区公民館の整備に向けた検討を行います。	生涯学習課	-	-	第2次日向市行政改革大綱及び日向市公共施設等総合管理計画に沿って、老朽化している地区公民館の整備や新たな地区公民館の整備に向けた検討を進めていきます。	修繕箇所	10	箇所	9	A	限られた予算内で優先順位を決めて修繕を行い、突発的な修繕については資産経営課の予算で対応しました。	突発的な修繕を優先し、当初計画していた修繕が後回しになることがあります。	修繕の必要な箇所の台帳を作成し、優先順位を決めて適正な管理を行います。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
40	4 自然豊かで快適なまちづくり	3 自然が残る美しいまちづくりプロジェクト	1 自然に親しむ環境づくり	-	1 子どもが自然環境に触れ、学ぶ機会を作ります。	学校教育課	-	-	総合的な学習の時間において、川の水質調査や水辺の生き物調査を行ったり、環境保全のためのボランティアをしたりして、自然環境との関わりについて考えさせます。	身近な環境保全をテーマとした学習に取り組んだ学校数の割合	20	校	20	A	総合的な学習の時間や特別活動等において、自然環境の調査を行ったり、環境保全に関するボランティアに取り組んだりして、身近な環境との関わり方について考えさせることができました。	自然環境との関わりについて、考えさせる機会を継続的に設定するとともに、自ら行動できる意識の醸成を図っていく必要があります。	SDGsの視点とも関連させながら、身近な自然を保全しようとする実践意欲を高めていきます。

様式1-3 その他に取組む重点事業

【教育委員会】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	現状と課題	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果	今後の方向性
1	1 教育文化	1 生きる力を育む教育の推進	③ 特別支援教育の充実	学校教育課	障がいのある児童生徒の教育の充実に要する経費	200	児童生徒の特性等に応じた教育支援へのニーズは増加傾向にあります。特別支援教育支援員の適性な配置と通級指導教室の効果的な運用が必要です。	小・中学校への特別支援教育支援員の適正な配置を行うとともに、通級指導教室の適切な運営と支援の充実に図ります。	計画どおり	特別支援教育相談員による相談対応をはじめ、特別支援教育支援員の配置や通級指導教室を1学級増設して障がいのある児童生徒の支援の充実に図りました。	拡充
2		2 魅力ある教育体制や環境の充実	① 児童生徒の相談支援体制の充実	学校教育課	スクールサポート事業	196	児童生徒を取り巻く社会的環境の変化や影響は、生徒指導上の問題においても深刻さを増しており、解決困難な事案が発生が懸念されます。今後の対応では、命や人権に係る事案について、消極的な姿勢ではなく、積極的に発見、予防を図る指導体制の構築が必要です。	生徒指導アドバイザーを配置し、各学校における生徒指導体制の充実及び各協議会や専門委員会等との連絡・調整を行い、包括的な生徒指導の体制づくりを支援します。また、インターネットやSNS利用における情報リテラシー等について講話や情報発信を行います。	計画どおり	生徒指導アドバイザーによる指導や支援の下、各学校における生徒指導体制の充実に図りました。また、日向市PTA協議会や校長会と連携しインターネットやSNS利用における情報リテラシー等について講話や情報発信を積極的に行いました。	維持
3				② 児童生徒の健康づくりの推進	学校教育課	就学時健康診断に要する経費	201	新型コロナウイルス感染症の拡大や学校医等の新型コロナウイルスワクチン接種の対応により、日程や実施体制の見直しが必要となる可能性があります。	次年度就学予定者に対し、心身の状況を把握するために、各診察・検査を実施し、適正な就学指導を行います。	計画どおり	新型コロナウイルス感染症の予防対策を図りながら、学校や学校医等と連携を図り、学校における就学時健康診断を実施しました。
4	1 教育文化	2 魅力ある教育体制や環境の充実	② 児童生徒の健康づくりの推進	学校教育課	保健体育の充実に要する経費	201	新型コロナウイルス感染症の拡大や学校医等の新型コロナウイルスワクチン接種の対応により、日程や実施体制の見直しが必要となる可能性があります。	新型コロナウイルス感染症予防対策を図りながら、学校健診を実施し、早期発見・早期治療等が図られるように取り組みます。	計画どおり	新型コロナウイルス感染症の予防対策を図りながら、学校や学校医等と連携を図り、学校における児童生徒の健康診断を実施しました。	維持
5				学校教育課	安全教育の推進に要する経費	202	安全な学校生活を送るためには、学校の環境について、適正な検査の実施が必要です。	学校薬剤師と連携し、水道水やプールの水質検査、環境衛生検査を行い、学校での安全管理に取り組みます。	計画どおり	学校薬剤師が点検を行い、安全な状況を確認するとともに、改善に向けての対策を図りました。	維持

様式1-3 その他に取組む重点事業

【教育委員会】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	現状と課題	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果	今後の方向性		
6	1 教育文化	2 魅力ある教育体制や環境の充実	③ 学校給食の充実	学校給食センター	給食調理に要する経費(学校給食センター)	204	児童生徒の心身の健全な発達、正しい食習慣を身に付けてもらうために安定的に給食の提供する必要があります。	市内幼稚園、小・中学校の児童生徒に安全・安心の学校給食を提供し、円滑で安定した給食運営を実施に努めます。	計画どおり	・調理業者に対しては、定期的な衛生研修を実施し、安全・安心な給食の提供を行いました。 ・配送業者に対しては、予備車の搬送訓練を実施しました。	維持		
7				学校給食センター	安全衛生対策に要する経費(学校給食センター)	205	衛生的な施設、作業環境等を整備することにより、安全安心な学校給食を提供し続けなければなりません。	異物混入の原因となる害虫駆除を専門業者に委託し、点検、対策、改善方法の提案を受けるなど施設内外の総合的な衛生管理を実施し、衛生的な施設・作業環境を整備します。	計画どおり	・害虫駆除の調査及び防除について年間6回の分析調査、1か月に1回の点検調査を行いました。 ・調理に関する備品・消耗品の購入を計画的に行い、衛生環境を整備しました。 ・食品検査、検便検査、ノロウイルス検査、水質検査等も予定どおり行いました。	維持		
8	1 教育文化	4 社会教育の推進	③ 自主学級活動の充実	生涯学習課	自主学級事業	214	女性学級と高齢者学級においては、年々実施団体が少なくなっています。	それぞれの年代が抱えている課題について講師を招き学習し、知識の向上を図ります。	その他	コロナ禍により当初予定していた活動ができない学級がありました。	維持		
9				5 図書館サービスの充実	① 図書館機能の充実	図書館	図書館サービス・資料の充実に要する経費	206	コロナ禍により来館者および貸出冊数ともに減少しており、感染拡大防止に配慮し、安全安心に利用していただけるような環境整備に努める必要があります。	・レファレンスなどによる学習活動支援や郷土史、若山牧水に関する蔵書の充実、館内飲食スペースの開放、フリーWi-Fi環境の提供等を継続して、図書館サービスや利便性の向上を図ります。 ・貸出カードに有効期限を設け、利用者情報の適正化を図ります。	計画どおり	・レファレンスなどによる学習活動支援や郷土史、若山牧水に関する蔵書の充実、館内飲食スペースの開放、フリーWi-Fi環境の提供等を継続して、図書館サービスや利便性の向上を図りました。 ・貸出カードに有効期限を設け、利用者情報の適正化を図りました。	維持
10						② 読書活動の推進	図書館	生涯学習ボランティア(図書館)の育成事業	207	既存のボランティア団体「友の会」については、会員が高齢化してきているため、新たなボランティアの育成に向けて働きかける必要があります。	既存団体である「友の会」の活動支援や高校生ボランティア等の育成支援を行います。	計画どおり	既存団体「友の会」の活動支援を行うとともに、市内高校との協議を行い、図書館事業への参加について働きかけました。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【総合政策部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	教育総務課	日向市育英奨学金制度の周知に努めます。	計画どおり	広報ひゅうが・市ホームページ、フェイスブック等で案内
2			図書館	広報誌の発行 HP運営	計画どおり	図書館だよりの毎月発行 HP情報都度更新
3			生涯学習課	社会教育活動に関する参加者募集など広報ひゅうがを積極的に活用し、周知を図ります。	計画どおり	公民館主催講座や人権講座の開催案内、放送大学学生募集等での告知のため、広報ひゅうがの積極的な活用を図りました。
4			図書館	市民の声を取り入れます。	計画どおり	リクエストのあった本の購入 購入雑誌の見直し
5		職員の育成	教育総務課	施設を定期的に点検を行い、危険箇所の把握を行います。	計画どおり	施設を定期的に点検し、危険箇所の把握、改修を行いました。
6		市民に開かれた市役所づくり	図書館	市民の要望に的確かつ最大限に対応します。	計画どおり	市内外からのレファレンスに対応 要望のあった本についてネットワークを活用し相互貸借で取り寄せ

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【総合政策部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
7	市民に信頼される行政サービスの提供	市民に開かれた市役所づくり	図書館	HP(PC版・携帯版)の活用	計画どおり	HPからのネット貸出予約の受付
8		情報公開と個人情報の保護	全課	研修を通して理解を深め、個人情報保護の適正な運用に努めます。	計画どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者情報更新を進め、個人情報の適正管理に努めました。 ・個人情報保護についての研修への参加
9	効果的・効率的な行政経営の推進	計画的な行政経営の推進	全課	日頃より業務の改善ができないか注視し、効果的・効率的な運営ができないか検討していきます。	計画どおり	情報共有と連携を行うとともに、必要に応じて改善を図りました。
10			図書館	業務の簡素化・効率化を図ります。	計画どおり	業務の簡素化を図りました。
11		行政運営の効率化の推進	図書館	主任・副主任を置いて司書等の意見、事務割り振りを集約します。	計画どおり	主任・副主任を置いて意見の集約や事務の割り振りを行いました。
12			図書館	図書館ボランティアの活用	計画どおり	読み聞かせやブックリペア、植栽等に活用
13			図書館	情報環境の充実	計画どおり	フリーWi-Fi環境の提供 インターネット端末の設置 端末による蔵書検索・予約等

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【総合政策部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
14	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	学校給食センター	関係部門との連携構築システム導入の検討 初期費用の把握	計画どおり	検討委員会の設置・開催 給食費管理システムデモの実施 先進地視察 給食費管理システム導入費用の予算計上
15			全課	繁忙期においては、課内で協力しながら事務の分担を行い、時間外勤務の改善を図ります。	計画どおり	課内で協力しながら事務の分担を行い、時間外勤務の改善を図りました。
16			図書館	無理のない勤務体制に努めます。	計画どおり	職員の希望を基に勤務日程表を作成し、勤務状況の把握と管理を行いました。
17	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	スポーツ・文化振興課	(公財)文化振興事業団の健全な事業運営を支援します。	その他	・運営委員会の開催(12回) ・施設修繕補修工事(非常用蓄電池交換、ロビー天井修繕工事)
18		自主財源の確保	教育総務課	奨学金の定期的な催告、訪問等により、滞納者の状況把握と、納付指導を行います。	計画どおり	定期的な催告により、滞納者の状況把握と納付指導を行いました。
19			生涯学習課	放課後子ども教室利用料の納入が遅れている場合には、今後も電話や文書にて催告を行っていきます。	計画どおり	納入状況の確認を行い、遅れている場合、電話や文書にて催告を行い滞納防止に努めました。